

News Release

No. 56-196

2020年2月18日

売上高・利益ともに大きく悪化

—— 第162回企業経営動向調査より ——

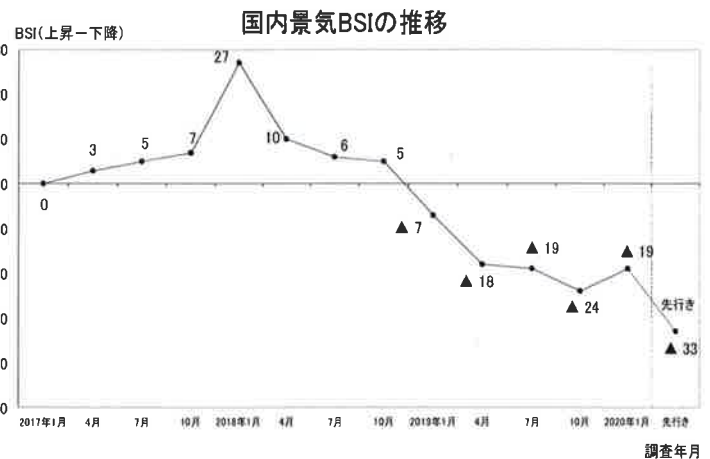
埼玉県内の企業を対象に1月中旬に実施したアンケート「第162回企業経営動向調査」（対象企業940社、回答企業数211社、回答率22.4%）によると、消費増税の影響もあり売上高・利益がともに大きく悪化した。

最近（2020年1月中旬）の国内景気に対する見方は、「上昇」8%、「下降」27%で、BSI（「上昇」－「下降」の企業割合）は▲19となり、前回調査（2019年10月）の▲24から5ポイントの改善となった。

BSIは若干改善し、景気に対する懸念が若干和らいだ。しかしながら、輸出や生産に弱い動きが続いていることなどから、国内景気のBSIは2019年1月調査よりマイナスが続いている。

（先行き）

先行き（約6カ月後）については、「上昇」10%、「下降」43%で、BSIは▲33と現状から14ポイントの悪化となった。先行きについては、厳しい見方が増えている。

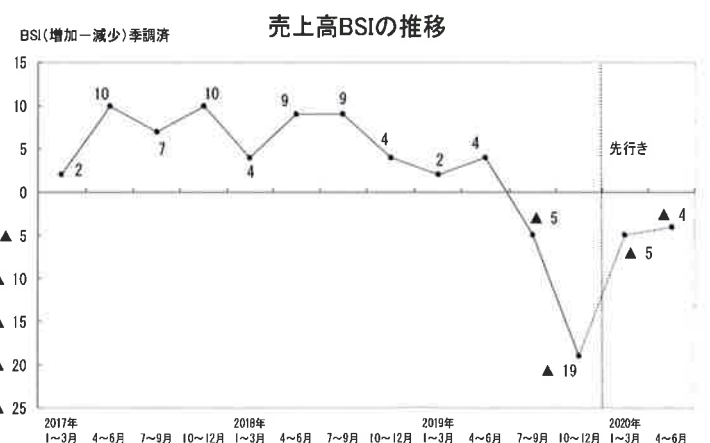


2019年10～12月期の売上高は、季調済BSI（「増加」－「減少」の企業割合、季節調整済）が▲19となり、前回調査対象期間（2019年7～9月期）の▲5から14ポイントの悪化となった。

売上高は、前回調査でマイナスとなり、今回は消費増税による影響もありBSIは大きく悪化し、2期連続のマイナスとなった。

（先行き）

先行きについては、2020年1～3月期のBSIが▲5、4～6月期は▲4となった。先行きもマイナスが続くが、マイナス幅は縮小している。



（照会先：吉嶺）

1. 景況判断

(1) 国内景気

(現 状)

最近（2020年1月中旬）の国内景気に対する見方は、「上昇」8%、「下降」27%で、BSI（「上昇」－「下降」の企業割合）は▲19となり、前回調査（2019年10月）の▲24から5ポイントの改善となった。

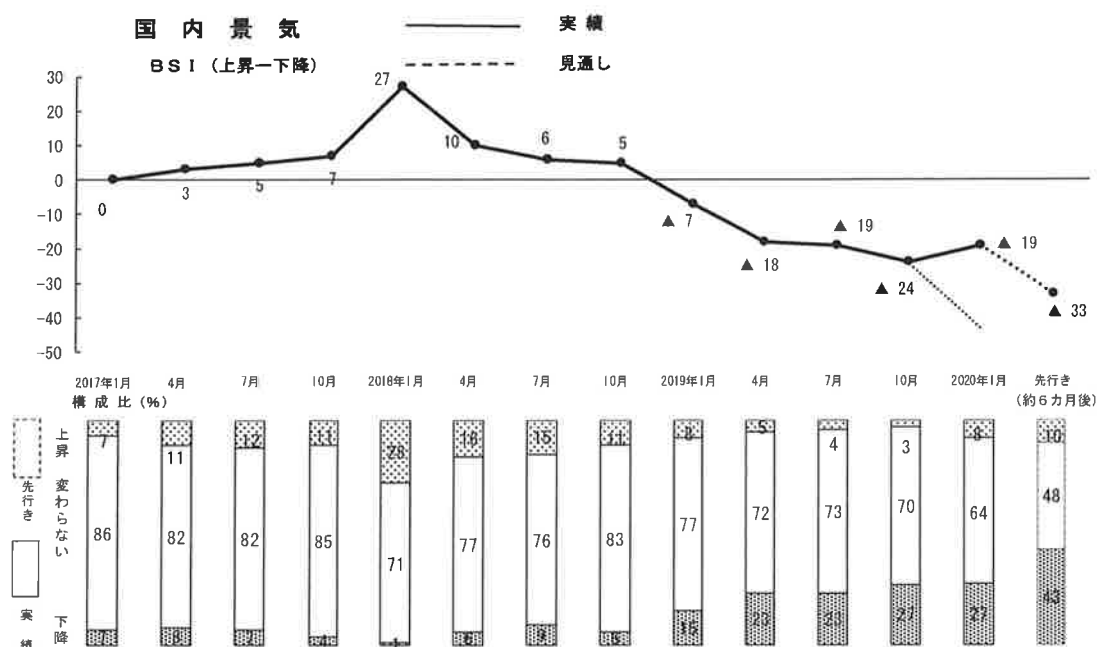
BSIは若干改善し、景気に対する懸念が若干和らいだ。しかしながら、輸出や生産に弱い動きが続いていることなどから、国内景気のBSIは2019年1月調査よりマイナスが続いている。

業種別にみると、製造業はBSI ▲33で前回調査から横ばい、非製造業は▲11で前回調査の▲19から8ポイントの改善となった。

(先行き)

先行き（約6カ月後）については、「上昇」10%、「下降」43%で、BSIは▲33と現状から14ポイントの悪化となった。先行きについては、厳しい見方が増えている。

業種別では、製造業はBSI ▲37で現状から4ポイントの悪化、非製造業は▲31で20ポイントの悪化となった。



(2) 業界景気

(現 状)

最近の自社業界の景気に対する見方は、「上昇」7%、「下降」39%で、BSIは▲32となり、前回調査の▲30から2ポイントの悪化となった。

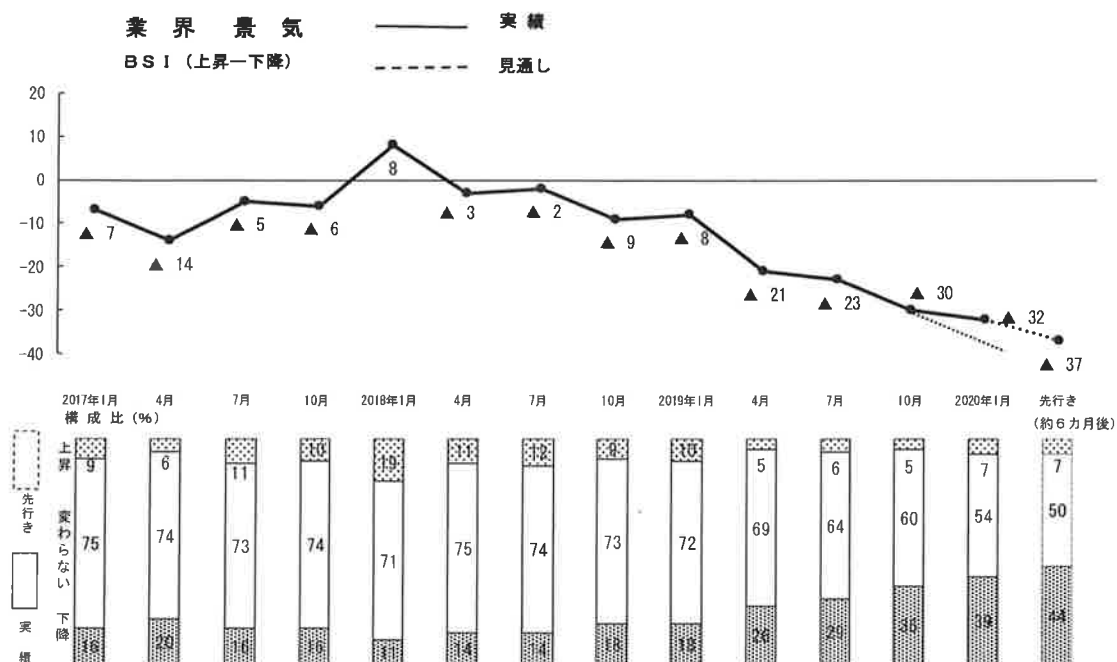
国内景気への慎重な見方が続くなか、業界景気への見方は悪化が続いている。また、業界景気のBSIは国内景気のBSIを下回っており、業界景気への見方は厳しい。

業種別にみると、製造業はBSI ▲46で前回調査の▲44から2ポイントの悪化、非製造業は▲24で前回調査の▲22から2ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては「上昇」7%、「下降」44%で、BSIは▲37と現状から5ポイントの悪化となった。業界景気の先行きについても、国内景気同様「下降」とするところが多くなり、慎重な見方が強くなっている。

業種別では、製造業はBSI ▲37で現状から9ポイントの改善、非製造業は▲36で12ポイントの悪化となった。



(3) 自社業況

(現 状)

最近の自社の業況に対する見方は、「良い」とする企業17%、「悪い」とする企業16%で、BSIは+1となり、前回調査の+9から8ポイントの悪化となった。

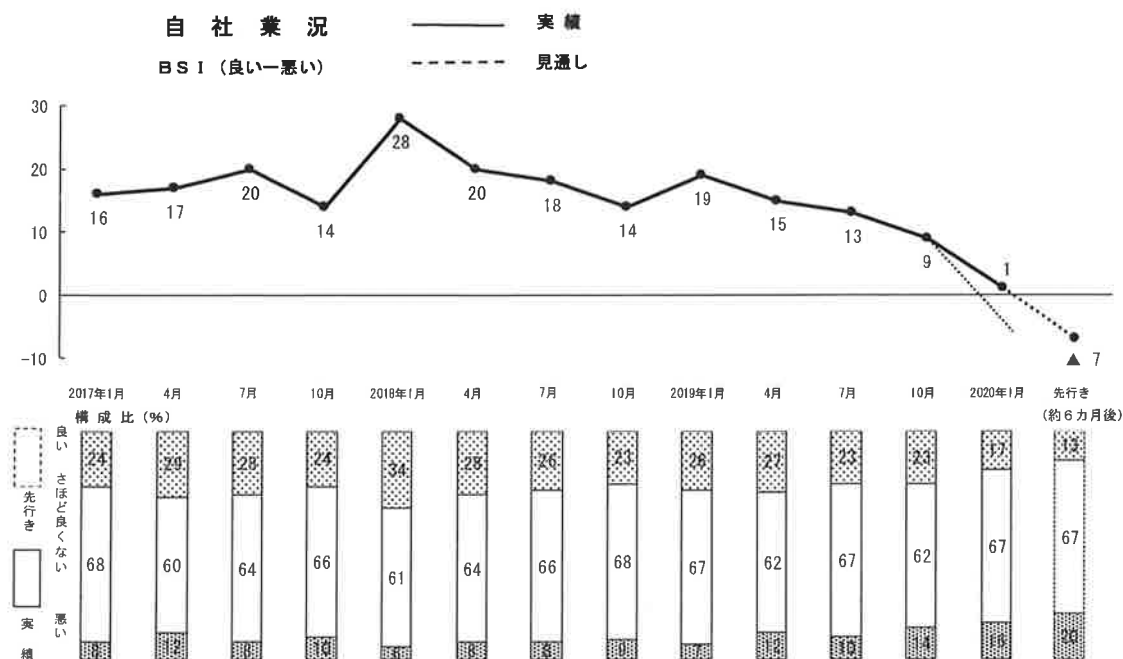
BSIはプラスを継続しているが、4期連続の悪化とBSIは徐々に低下している。今回調査では消費増税の影響もあり、やや大きな悪化となった。

業種別にみると、製造業はBSI ▲9で前回調査の▲5から4ポイントの悪化、非製造業は+6で前回調査の+16から10ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては「良い」とする企業13%に対し、「悪い」とする企業は20%、BSIは▲7と現状から8ポイントの悪化となった。先行きについては、国内景気の先行き懸念が強いことから、前回調査に続きマイナスとなった。

業種別では、製造業はBSIが▲14で現状から5ポイントの悪化、非製造業は▲3で9ポイントの悪化となった。



2. 経営動向

(1) 売上高

(現 状)

2019年10～12月期の売上高は、季調済BSI（「増加」－「減少」の企業割合、季節調整済）が▲19となり、前回調査対象期間（2019年7～9月期）の▲5から14ポイントの悪化となった。

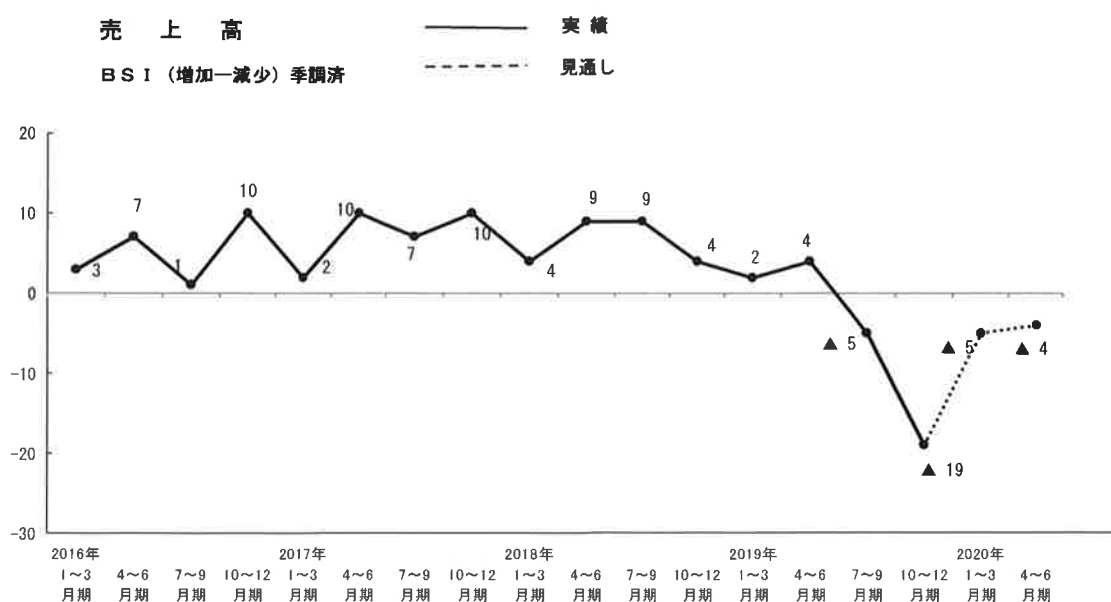
売上高は、前回調査でマイナスとなり、今回は消費増税による影響もありBSIは大きく悪化し、2期連続のマイナスとなった。

業種別にみると、製造業はBSI ▲39で前回調査の▲16から23ポイントの悪化、非製造業は▲7で前回調査の▲1から6ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては、2020年1～3月期のBSIが▲5、4～6月期は▲4となった。先行きもマイナスが続くが、マイナス幅は縮小している。

業種別では、製造業が2019年10～12月期、2020年1～3月期、4～6月期に▲39→▲5→▲3、非製造業では▲7→▲6→▲3となっている。



(2) 経常利益

(現 状)

2019年10～12月期の経常利益は、季調済BSIが▲31となり、前回調査対象期間(2019年7～9月期)の▲8から23ポイントと大幅な悪化となった。

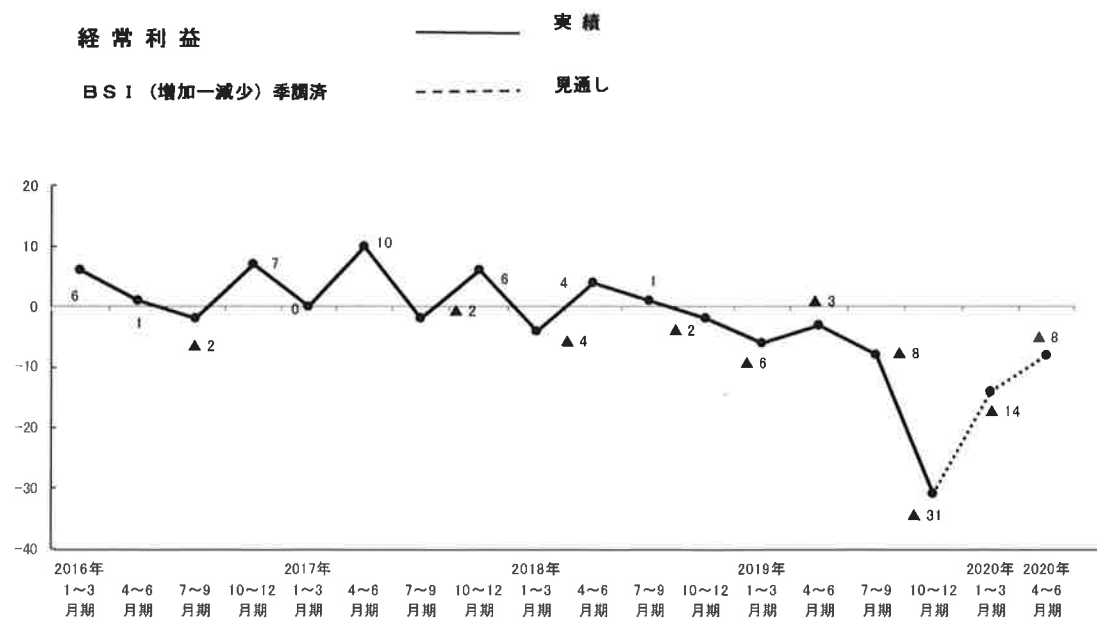
減少の要因(複数回答)としては、「売上・受注の不振」をあげるところが84%で前回調査の72%から大きく増加した。売上の不振により利益が減少するところが多くなっている。次いで「人件費の上昇」35%、「仕入単価の上昇」24%などとなっている。

業種別にみると、製造業はBSI ▲47で前回調査の▲25から22ポイントの悪化、非製造業は▲21で前回調査の0から21ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては、2020年1～3月期のBSIが▲14、4～6月期は▲8となった。先行きマイナス幅は縮小しているが、マイナスが続く見込み。

業種別では、製造業が2019年10～12月期、2020年1～3月期、4～6月期に▲47→▲12→▲7、非製造業では▲21→▲12→▲9となっている。



(3) 設備投資

(現 状)

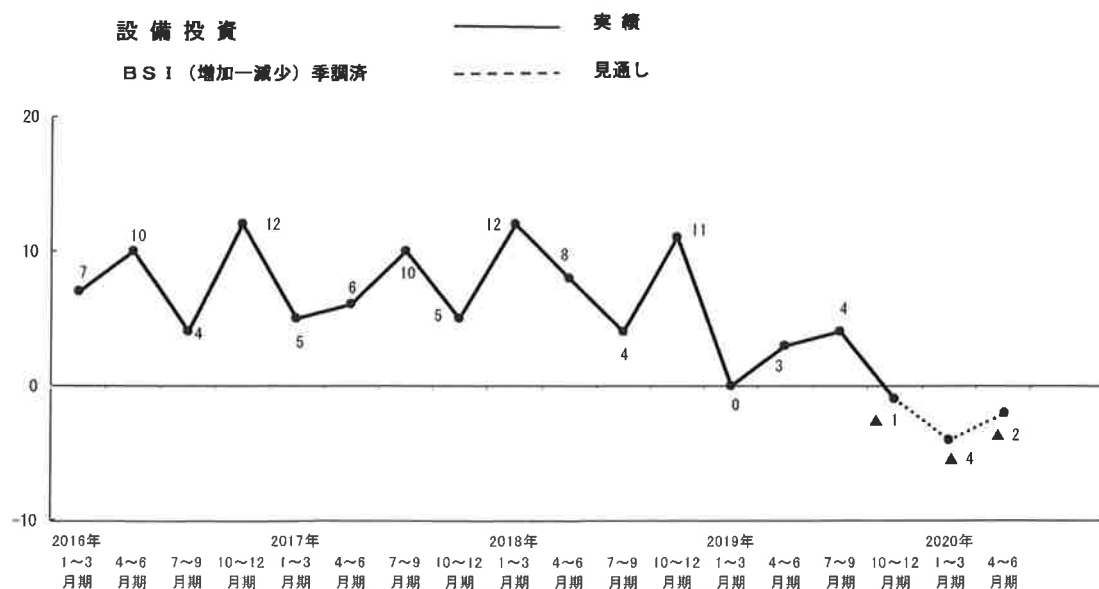
2019年10～12月期の設備投資は、季調済BSIが▲1となり、前回調査対象期間（2019年7～9月期）の+4から5ポイントの悪化となった。これまで、設備投資のBSIはプラスが続いていたが、2013年1～3月期以来ほぼ7年振りにマイナスとなった。

業種別にみると、製造業はBSI ▲1で前回調査の+3から4ポイントの悪化、非製造業は+1で前回調査の+2から1ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行きについては、2020年1～3月期のBSIが▲4、4～6月期は▲2となっており、国内景気の先行き不透明感から慎重な動きが続く見込み。

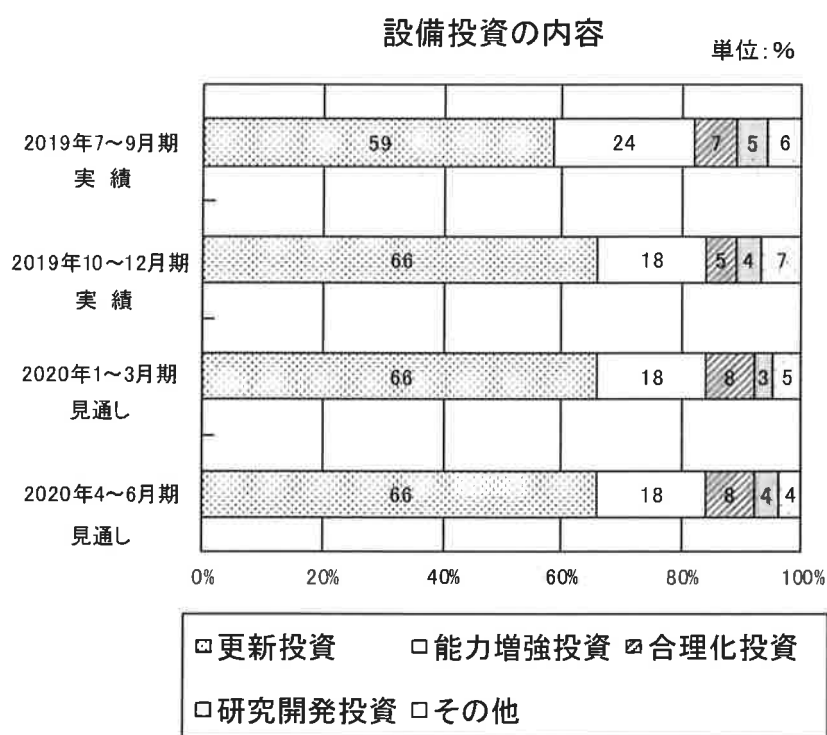
業種別では、製造業が2019年10～12月期、2020年1～3月期、4～6月期に▲1→▲5→+3、非製造業では+1→▲4→▲2となっている。



<設備投資の内容>

設備投資の内容については、2019年10～12月期は「更新投資」が66%、「能力増強投資」18%、「合理化投資」5%、「研究開発投資」4%などとなった。「更新投資」が6割以上となり、引き続き更新投資中心である。

2020年1～3月期、4～6月期の見通しについても、引き続き「更新投資」中心となっているが、「合理化投資」が若干ながら増えている。



(4) 雇 用

(現 状)

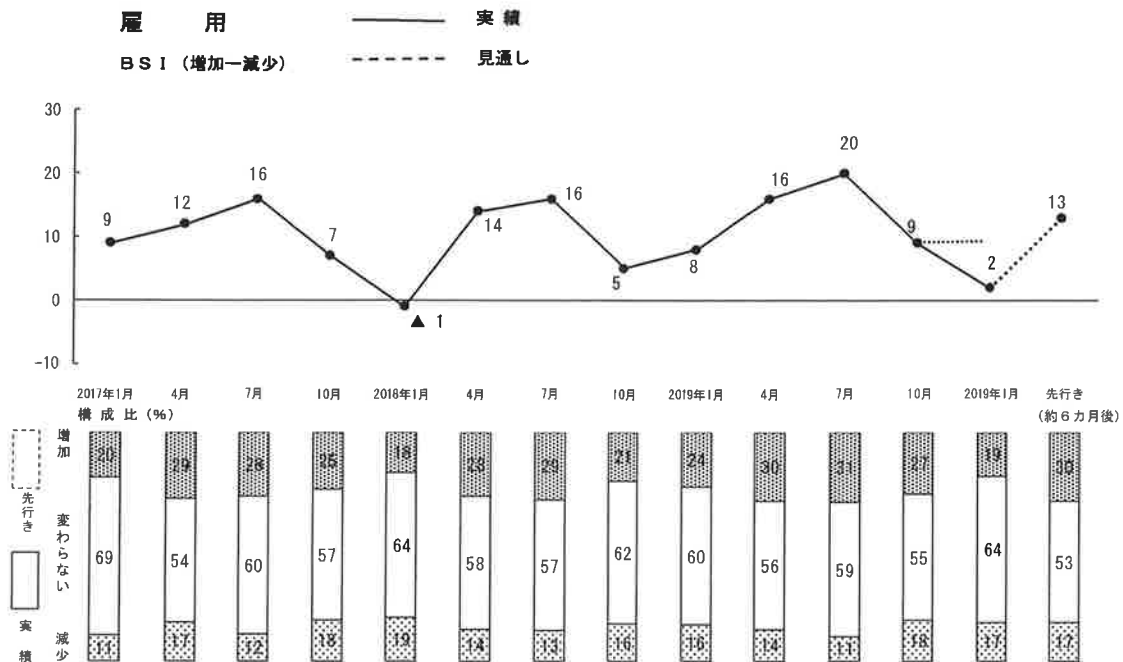
最近（ここ6カ月間）の雇用状況をみると、雇用人員が「増加」とした企業は19%、「減少」とした企業は17%で、BSIは+2と前回調査の+9から7ポイントの悪化となった。2期連続の悪化となったが例年10月・1月調査では、雇用のBSIは低くなる傾向がある。BSIはプラスを維持しており雇用は堅調な動きが続いている。

業種別にみると、製造業はBSI ▲4で前回調査の+5より9ポイントの悪化、非製造業は+6で前回調査の+11より5ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行き（約6カ月後）については、「増加」とする企業が30%、「減少」とする企業が17%でBSIは+13と現状から11ポイントの改善となった。先行きについても「増加」とするところが多く、雇用は当面改善が続く見込み。

業種別では、製造業はBSI +1で現状から5ポイントの改善、非製造業は+21で15ポイントの改善となっている。



(5) 設備操業度 (製造業)

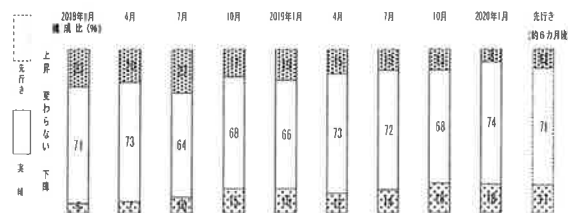
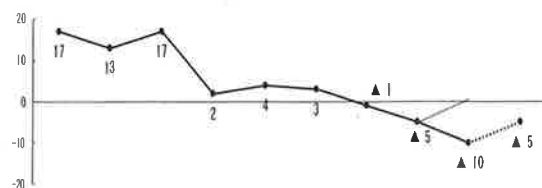
(現 状)

最近 (ここ6カ月間) の設備操業度は、「上昇」8%、「下降」18%でBSI (上昇-下降) は▲10と、前回調査の▲5から5ポイントの悪化となった。設備操業度のBSIは、3期連続でマイナスとなった。

(先行き)

先行き (約6カ月後) については、「上昇」12%、「下降」17%となり、BSIは▲5と現状より5ポイントの改善となった。先行きについてはやや改善を見込んでいる。

設備操業度 ——— 実績
BSI (上昇-下降) - - - - 見直し



(6) 在庫水準 (製造業)

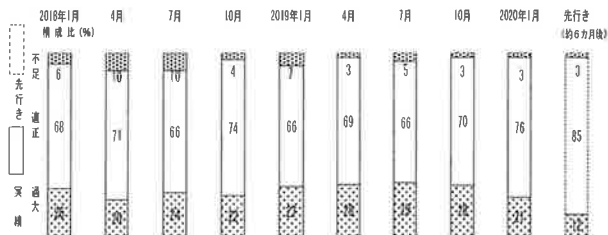
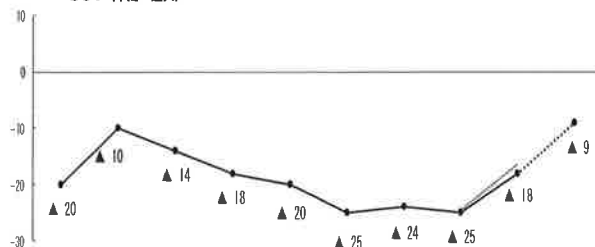
(現 状)

最近の在庫水準は「不足」3%、「過大」21%でBSI (不足-過大) は▲18と前回調査の▲25から7ポイントの改善となった。在庫水準については、引き続き「過大」とするところが多い。

(先行き)

先行きについてはBSIが▲9と、現状より9ポイントの改善となった。先行き在庫が「適正」とする企業は85%と8割以上となり、在庫は適正とする企業が多くなっている。

製商品の在庫水準 ——— 実績
BSI (不足-過大) - - - - 見直し

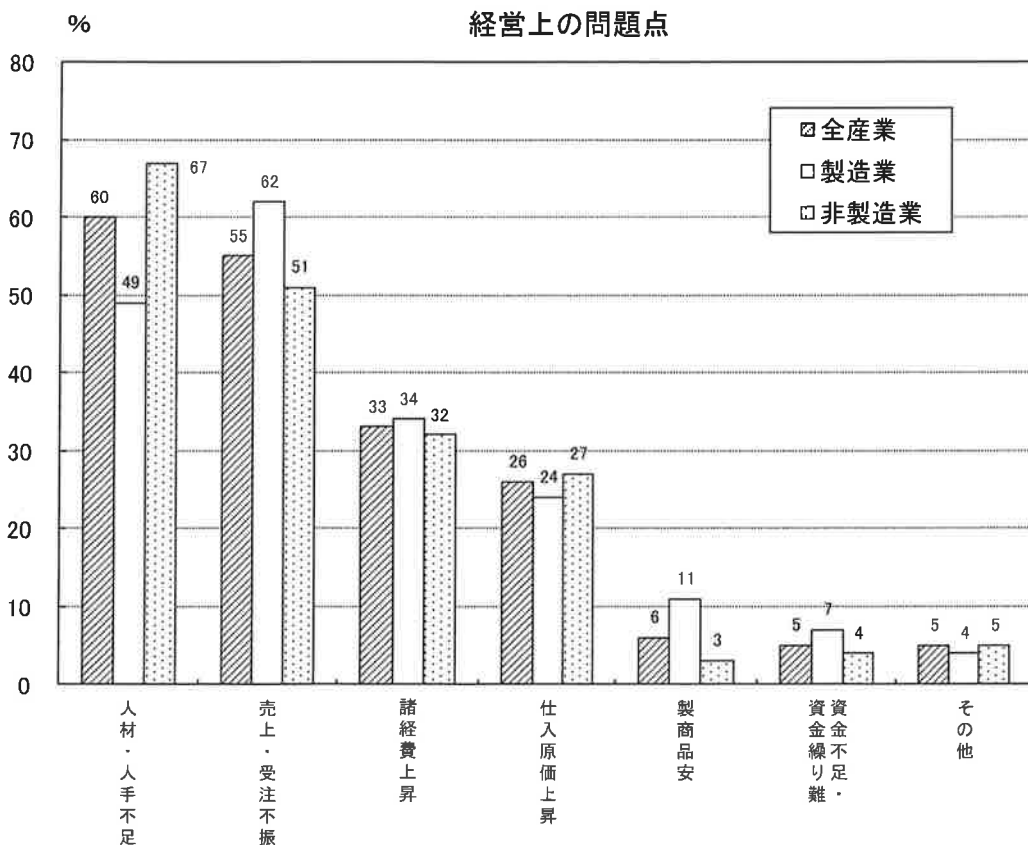


3. 経営上の問題点

経営上の問題点（複数回答）については、「人材・人手不足」が60%と最も多かった。次いで「売上・受注不振」55%、「諸経費上昇」33%、「仕入原価上昇」26%、「製商品安」6%、「資金不足・資金繰り難」5%などとなった。

前回調査と比べると、「売上・受注不振」が8ポイント増加し、消費増税の影響が出ているものとみられる。なお、「人材・人手不足」は1ポイント減少したが、引き続き深刻な問題となっている。

業種別にみると、製造業では「売上・受注不振」62%が最も多く、次いで「人材・人手不足」49%、「諸経費上昇」34%、「仕入原価上昇」24%などとなった。非製造業では「人材・人手不足」67%が最も多く、次いで「売上・受注不振」51%、「諸経費上昇」32%、「仕入原価上昇」27%などとなっている。



付表 業種別項目別BSIの推移

業 種	項 目 期 別	国内景気 (上昇-下降)			業界の景気 (上昇-下降)			自社の業況 (良い-悪い)		
		2019年 10月 前回調査	2020年 1月 今回調査	2020年 6月まで 見通し	2019年 10月 前回調査	2020年 1月 今回調査	2020年 6月まで 見通し	2019年 10月 前回調査	2020年 1月 今回調査	2020年 6月まで 見通し
		全 産 業	▲ 24	▲ 19	▲ 33	▲ 30	▲ 32	▲ 37	9	1
製 造 業	▲ 33	▲ 33	▲ 37	▲ 44	▲ 46	▲ 37	▲ 5	▲ 9	▲ 14	
食 料 品	0	▲ 25	0	▲ 22	▲ 25	0	0	▲ 25	0	
織 維	▲ 50	0	▲ 100	▲ 50	0	▲ 50	0	0	▲ 50	
化 学	0	40	▲ 20	▲ 20	0	0	0	40	40	
窯 業・土 石	0	▲ 50	▲ 100	0	▲ 50	▲ 100	0	100	50	
鉄 鋼	0	0	▲ 100	0	0	▲ 100	100	100	0	
非 鉄 金 属	▲ 67	▲ 50	25	▲ 67	▲ 50	25	▲ 67	▲ 50	25	
金 属 製 品	▲ 50	▲ 75	▲ 50	▲ 50	▲ 100	▲ 50	50	0	▲ 25	
一 般 機 械	▲ 100	▲ 75	▲ 50	▲ 100	▲ 50	▲ 50	▲ 67	▲ 50	▲ 50	
電 気 機 械	▲ 17	▲ 42	▲ 34	▲ 42	▲ 42	▲ 25	▲ 17	0	▲ 9	
輸 送 機 械	▲ 50	▲ 43	▲ 50	▲ 57	▲ 57	▲ 43	▲ 13	▲ 15	▲ 21	
精 密 機 械	▲ 75	▲ 60	▲ 40	▲ 25	▲ 80	▲ 80	50	▲ 40	▲ 40	
木 材 木 製 品	▲ 50	0	▲ 67	▲ 50	▲ 75	▲ 67	▲ 50	0	▲ 33	
紙・紙加工品	▲ 50	▲ 50	0	▲ 75	▲ 50	▲ 50	0	▲ 50	▲ 50	
印 刷	0	0	0	▲ 67	▲ 67	▲ 67	▲ 33	▲ 67	▲ 67	
そ の 他	▲ 12	▲ 20	▲ 40	▲ 25	▲ 20	▲ 30	12	0	0	
非 製 造 業	▲ 19	▲ 11	▲ 31	▲ 22	▲ 24	▲ 36	16	6	▲ 3	
卸 売	▲ 22	▲ 38	▲ 38	▲ 45	▲ 54	▲ 54	▲ 5	▲ 8	▲ 13	
小 売	▲ 38	▲ 29	▲ 41	▲ 33	▲ 41	▲ 53	14	▲ 18	▲ 23	
建 設	▲ 14	0	▲ 42	▲ 14	▲ 21	▲ 46	14	4	▲ 8	
不 動 産	▲ 38	0	▲ 9	▲ 16	▲ 18	▲ 27	30	9	9	
運 輸・倉 庫	▲ 21	▲ 15	▲ 39	▲ 21	8	▲ 31	15	36	15	
電 気・ガ ス	0	▲ 20	▲ 40	0	▲ 20	▲ 20	0	20	0	
情 報 通 信	0	0	20	▲ 20	20	20	0	20	20	
飲 食 店・宿 泊	33	0	11	16	▲ 22	0	67	22	22	
サ ー ビ ス	▲ 13	4	▲ 34	▲ 19	▲ 15	▲ 34	22	8	▲ 8	

項目 期別 業種	売上高 (増加-減少)						経常利益 (増加-減少)					
	原数値			季調値			原数値			季調値		
	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月	2019年 10~12月	2020年 1~3月	2020年 4~6月
	実績	実績見込み	見通し	実績	実績見込み	見通し	実績	実績見込み	見通し	実績	実績見込み	見通し
全産業	▲ 2	▲ 12	▲ 10	▲ 19	▲ 5	▲ 4	▲ 14	▲ 15	▲ 12	▲ 31	▲ 14	▲ 8
製造業	▲ 23	▲ 15	▲ 11	▲ 39	▲ 5	▲ 3	▲ 30	▲ 16	▲ 15	▲ 47	▲ 12	▲ 7
食料品	0	▲ 25	75	▲ 26	▲ 3	45	0	▲ 25	75	▲ 28	▲ 20	31
繊維	50	▲ 50	▲ 50	87	▲ 53	▲ 63	0	▲ 50	0	21	▲ 55	▲ 10
化学	▲ 20	0	▲ 20	▲ 12	▲ 9	10	▲ 25	0	▲ 25	▲ 43	6	▲ 5
窯業・土石	50	100	▲ 50	12	100	▲ 26	50	50	▲ 50	33	43	▲ 33
鉄鋼	▲ 100	▲ 100	0	▲ 75	▲ 95	0	▲ 100	▲ 100	0	▲ 95	▲ 24	▲ 20
非鉄金属	▲ 50	25	0	▲ 75	54	25	▲ 50	25	0	▲ 53	48	18
金属製品	▲ 50	0	▲ 75	▲ 73	▲ 10	▲ 18	▲ 100	0	▲ 75	▲ 100	▲ 12	▲ 11
一般機械	▲ 50	▲ 75	50	▲ 56	▲ 75	78	▲ 50	▲ 50	25	▲ 64	▲ 58	43
電気機械	0	▲ 50	▲ 9	▲ 17	▲ 50	13	▲ 17	▲ 42	▲ 17	▲ 28	▲ 40	3
輸送機械	▲ 36	8	▲ 15	▲ 69	47	▲ 7	▲ 28	7	▲ 31	▲ 71	25	▲ 15
精密機械	▲ 80	▲ 20	▲ 60	▲ 66	▲ 51	▲ 20	▲ 60	▲ 20	▲ 40	▲ 46	▲ 61	▲ 7
木材木製品	0	0	▲ 50	▲ 40	▲ 29	▲ 19	▲ 50	▲ 25	▲ 50	▲ 100	▲ 62	▲ 17
紙・紙加工品	0	▲ 50	0	▲ 43	▲ 10	▲ 38	▲ 50	▲ 50	0	▲ 99	▲ 9	▲ 37
印刷	34	▲ 34	▲ 34	6	▲ 28	▲ 5	34	▲ 34	▲ 34	0	▲ 31	▲ 4
その他	▲ 34	0	23	▲ 26	9	17	▲ 30	▲ 10	10	▲ 22	▲ 7	4
非製造業	10	▲ 10	▲ 9	▲ 7	▲ 6	▲ 3	▲ 4	▲ 14	▲ 10	▲ 21	▲ 12	▲ 9
卸売	55	▲ 29	0	8	▲ 13	▲ 6	38	▲ 21	16	5	▲ 13	1
小売	▲ 17	5	▲ 47	▲ 17	0	▲ 24	▲ 17	11	▲ 53	▲ 22	▲ 3	▲ 32
建設	16	▲ 12	▲ 42	▲ 4	▲ 20	▲ 22	16	▲ 12	▲ 42	▲ 2	▲ 18	▲ 19
不動産	0	0	18	3	▲ 6	24	▲ 27	▲ 18	18	▲ 20	▲ 21	12
運輸・倉庫	22	▲ 22	29	▲ 1	7	10	▲ 29	▲ 36	29	▲ 47	▲ 12	17
電気・ガス	80	40	▲ 60	-	-	-	20	40	▲ 60	-	-	-
情報通信	20	20	▲ 20	16	17	▲ 10	20	0	25	13	▲ 8	29
飲食店・宿泊	▲ 22	▲ 78	45	▲ 22	▲ 15	26	▲ 22	▲ 78	45	▲ 27	▲ 17	21
サービス	▲ 23	7	0	▲ 31	10	▲ 1	▲ 35	▲ 4	▲ 23	▲ 50	▲ 4	▲ 23

業種	項目 期別	設備投資 (増加-減少)						雇用 (増加-減少)		
		原 数 値			季 調 値			2019年 10月 前回調査	2020年 1月 今回調査	2020年 6月まで 見通し
		2019年 10~12月 実績	2020年 1~3月 実績見込み	2020年 4~6月 見通し	2019年 10~12月 実績	2020年 1~3月 実績見込み	2020年 4~6月 見通し			
全産業		2	▲4	▲3	▲1	▲4	▲2	9	2	13
製造業		3	▲8	1	▲1	▲5	3	5	▲4	1
食料品		25	50	0	18	44	▲1	0	50	0
繊維		0	0	0	▲1	▲4	14	▲50	0	50
化学		20	40	0	11	35	▲1	20	0	40
窯業・土石		0	0	50	▲16	21	72	0	50	0
鉄鋼		0	100	▲100	▲42	89	▲46	0	0	▲100
非鉄金属		▲25	0	75	▲32	38	50	▲33	0	▲25
金属製品		▲25	▲50	▲75	▲24	▲53	▲69	0	▲25	▲25
一般機械		▲25	▲50	0	▲40	▲58	▲1	0	0	0
電気機械		▲17	▲33	▲17	▲36	▲18	▲18	0	8	▲9
輸送機械		29	▲36	▲16	31	▲44	5	38	▲22	▲16
精密機械		▲20	20	0	▲22	12	8	25	0	60
木材木製品		0	0	50	▲1	10	57	50	25	▲33
紙・紙加工品		0	0	0	2	▲39	4	▲25	0	0
印刷		0	0	0	23	2	16	▲33	▲33	▲33
その他		20	10	30	12	28	17	▲12	▲30	30
非製造業		2	▲2	▲5	1	▲4	▲6	11	6	21
卸売		▲5	9	▲9	▲2	9	▲6	5	▲17	30
小売		0	6	▲12	4	5	▲10	0	▲12	0
建設		▲4	▲25	▲9	▲1	▲24	▲10	10	21	29
不動産		0	9	9	0	11	0	23	27	9
運輸・倉庫		▲15	15	▲15	▲24	16	▲3	▲7	43	30
電気・ガス		60	0	▲20	-	-	-	▲50	0	20
情報通信		▲20	▲20	20	▲16	▲12	19	60	20	40
飲食店・宿泊		11	11	▲11	14	18	▲18	▲16	0	44
サービス		12	▲12	4	7	▲19	0	28	▲4	4

項目 期別 業種	設備操業度 (上昇-下降)			在庫水準 (不足-過大)		
	2019年 10月 前回調査	2020年 1月 今回調査	2020年 6月まで 見通し	2019年 10月 前回調査	2020年 1月 今回調査	2020年 6月まで 見通し
	全産業	-	-	-	-	-
製造業	▲ 5	▲ 10	▲ 5	▲ 25	▲ 18	▲ 9
食料品	▲ 13	25	0	▲ 13	0	25
繊維	0	0	0	▲ 50	▲ 50	▲ 50
化学	0	20	0	▲ 20	▲ 20	0
窯業・土石	0	0	0	0	0	0
鉄鋼	0	▲ 100	▲ 100	0	0	0
非鉄金属	▲ 67	▲ 25	50	0	0	0
金属製品	75	▲ 25	▲ 25	▲ 50	0	0
一般機械	▲ 67	▲ 25	0	33	0	0
電気機械	0	0	▲ 17	▲ 25	▲ 17	▲ 17
輸送機械	▲ 6	▲ 22	22	▲ 31	▲ 29	▲ 14
精密機械	0	0	▲ 40	▲ 25	▲ 20	▲ 20
木材木製品	50	0	0	▲ 50	▲ 50	0
紙・紙加工品	▲ 25	▲ 100	▲ 100	▲ 25	▲ 50	▲ 50
印刷	▲ 33	▲ 33	▲ 33	0	0	0
その他	0	0	0	▲ 50	▲ 20	▲ 10
非製造業	-	-	-	-	-	-
卸売	-	-	-	-	-	-
小売	-	-	-	-	-	-
建設	-	-	-	-	-	-
不動産	-	-	-	-	-	-
運輸・倉庫	-	-	-	-	-	-
電気・ガス	-	-	-	-	-	-
情報通信	-	-	-	-	-	-
飲食店・宿泊	-	-	-	-	-	-
サービス	-	-	-	-	-	-

<調査手法>

わが国の代表的な景気動向調査として、日本銀行の「企業短期経済観測調査（短観）」と内閣府・財務省の「法人企業景気予測調査」とがあります。本調査はそれらの全国ベースの調査に対応する地域ベースの調査として、埼玉県内における経済産業動向や企業経営動向をアンケートの方法によって集計・調査したものです。

本文中にあるBSIは、ビジネス・サーベイ・インデックス (Business Survey Index) の略で、質問事項に対して「増加」「変わらない」「減少」の各要素を持つ3種類の選択肢を用意し、このうち増加要素を持つ選択肢に回答した企業の割合から、減少要素を持つ選択肢に回答した企業の割合の差をとったもので、企業の景況判断についての強弱感を指標化したものです。BSIのプラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化を表しています。例えば、回答した企業500社のうち150社(30%)の企業で売上が増加し、50社(10%)の企業が減少した場合、BSIは次のように20となります。

$$BSI = (150/500 \times 100) - (50/500 \times 100) = 30 - 10 = 20$$

<調査要領>

1. 調査の目的

埼玉県内における経済産業動向、企業経営動向を調査して、地域内企業の経営判断の参考に供するとともに、地域経済産業の発展に寄与することを目的としております。

2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出、産業分類は日本標準産業分類に基づいて製造業15業種、非製造業9業種、計24業種に分類しました。対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

3. 調査時期 2020年1月中旬

4. 調査方法

最近と先行きの景気・業況判断、2019年10～12月期の経営動向及び2020年1～3月期、2020年4～6月期の経営予測をアンケート方式により調査しました。

5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業940社のうち、211社(回答率22.4%)。回答企業の業種別内訳と中小企業(中小企業庁方式)の占める比率は別表のとおりです。

別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業 の占める比率 (%)
全 産 業	940	211	100.0	90.0
製 造 業	313	76	36.0	93.4
食 料 品	37	4	1.9	100.0
織 維	12	2	0.9	100.0
化 学	30	5	2.4	100.0
窯 業 ・ 土 石	9	2	0.9	100.0
鉄 鋼	9	1	0.5	100.0
非 鉄 金 属	9	4	1.9	100.0
金 属 製 品	19	4	1.9	100.0
一 般 機 械	34	4	1.9	100.0
電 気 機 械	36	12	5.7	83.3
輸 送 機 械	32	14	6.6	78.6
精 密 機 械	14	5	2.4	100.0
木 材 ・ 木 製 品	9	4	1.9	100.0
紙 ・ 紙 加 工 品	12	2	0.9	100.0
印 刷	27	3	1.4	100.0
そ の 他 製 造	24	10	4.7	100.0
非 製 造 業	627	135	64.0	88.1
卸 売	94	24	11.4	91.7
小 売	86	17	8.1	52.9
建 設	67	24	11.4	100.0
不 動 産	59	11	5.2	100.0
運 輸 ・ 倉 庫	81	14	6.6	100.0
電 気 ・ ガ ス	14	5	2.4	100.0
情 報 通 信	52	5	2.4	100.0
飲 食 店 ・ 宿 泊	42	9	4.3	88.9
サ ー ビ ス	132	26	12.3	80.8